

平成21年10月26日

宇都宮市長

佐藤栄一 殿

宇都宮市議会

公明党議員会

新型インフルエンザワクチン接種に関する要望書

国立感染症研究所の定点サーベイランスによると、インフルエンザの報告は増加傾向にあり、第42週（10月12日～18日）における患者数の推計は、全国で83万人となっており、本県においても、安足保健所では、定点当たり18.73人で、注意報レベルとなっております。

このような現状に対し、政府は、重症化予防のため、医療従事者、小中高校生、高齢者など優先順位を付けた新型インフルエンザワクチン接種を決定し、すでに医療従事者のワクチン接種が始まっております。

今回のワクチン接種に際し、市民の健康を守り、安全・安心な生活を確保するため、さらなる感染拡大防止に向け、下記事項について、特段の取り組みを図られるよう、強く要望します。

記

1. 経済的負担の軽減、さらにワクチン接種を促進するために、新型インフルエンザワクチン接種の費用負担軽減措置を行うこと。
2. ワクチン接種対象者のうち、特に65歳以上の高齢者については、接種しない方が出ないように、十分に配慮すること。
3. インフルエンザ流行時期に向かい、感染予防対策として、市民へうがい、手洗いの励行、マスクの着用など、さらなる予防的措置への呼びかけ等、十分な周知徹底を行うこと。

以 上

新型インフルエンザワクチン接種に関する要望書を市長に提出

平成 21 年 10 月 26 日

- 1 経済的負担の軽減、さらにワクチン接種を促進するために、新型インフルエンザワクチン接種の費用負担軽減措置を行うこと。
- 2 ワクチン接種対象者のうち、特に 65 歳以上の高齢者については、接種しない方がでないよう、十分に配慮すること。
- 3 インフルエンザ流行時期に向かい、感染予防対策として、市民へのうがい、手洗いの励行、マスクの着用など、さらなる予防的措置への呼びかけ等、十分な周知徹底を行う。
ことを要望致しました。

